

宜野湾高校の生徒達へ（56）

2020.11.10

11月4日に「総合的な探究の時間(総探)」が行われた。目標は「自分自身の興味関心ごとをワークショップおよびアイデア会議で深掘りし、マイプロジェクトアクションプランのイメージを持つことができる」。まず、「本日の総探に取り組んでの感想」を紹介しよう！

- ◎グループになって討論することで自分だけでは思いつかない新しい発想や意見を得ることができてアイデアの幅が広がった。
- ◎前回よりも具体的に取り組む内容も決まって、どうやってそれを活動していくかなども決まってきたので、少しわくわくしてきました。
- ◎友達からアドバイスを貰ったことで視点を変えて考える事が出来たり、今日新しいアイデアとか思いついたのでもっと自分で考えて行動を起こしていきたい。
- ◎今日でテーマからプロジェクトの完成まで考えてみて、どのプロジェクトも人と話し合っ、人の協力なしには、できないものばかりだなと思いました
- ◎本格的にプロジェクトが決まってきた、テーマだけではなく、具体的に何をやるか、最終的なゴールも考えられてとてもよかった。今日考えたプロジェクト計画を元に色んな人に話を聞きに行き、プロジェクトを成功させたい。
- ◎今回は、自分の取り組みたいプロジェクトを具体的に決める事ができた。ですが、まだアクションに関して具体的にどのようにやればいいのか決まっていなくて、次の時間までにテーマに沿ったアクションを考えるようにしていきたい。
- ◎とても自分と向き合うにはいい機会だと思った。 ◎この前よりもやりたいことが見えてきた。



「マイプロジェクトのテーマと概要」については、

- ◎新生児と母親の生活を見つめ直す ◎宜野湾の海をキレイにする
- ◎沖縄のアゲ豚を広める ◎沖縄紹介のPV、もしくはMVをつくる
- ◎サンゴ礁を守ろう！ ◎スポーツを通して健康の保持増進
- ◎自転車専用の道路の設備や自転車の事故について ◎方言を残そう
- ◎環境や動物に優しい沖縄のモノ(コスメ)を広める、作る
- ◎タイモの食べる以外の活用法を見つけて発信する ◎LGBTについて
- ◎プラモデルを通して、地域での行事を考える！



★子供たちが自由に学べる場をつくる。中学生 高校生に教育についてのアンケートをとる、エンカレッジと宜野湾市教育委員会に話を聞きに行く、オンラインでの学びの場を作る。子供たちが夢を諦めずに叶えるための環境を作ることが出来たら完了 ★高齢者と子供たちの交流の場をつくる！高齢者・認知症の方の進行を遅らせることが出来る。社会的課題を持っている子供たちの居場所を作ることが出来る ★自然について絵や写真を集めた本を作る。ポイ捨てされている写真や自然が壊されて行く場面を写真に撮りまとめることで、自然環境破壊の現状や実態をそれぞれに伝えたい ★保育士の不足を解消するための取り組み。保育士の免許を持っていても保育に関する仕事から離れてしまった人がまた戻ってきてくれるかもしれない。保育士を目指す人が増えてくれる。両親共働き、片親世帯が安心して仕事に行ける ★ゲームや歌で世界を笑顔に!! 震災で被害のあった人達など、ネガティブな出来事のあった人達に向けて、ゲームや歌を届けることで、被災で負った心の傷を少しでも癒してあげる ★子どもの孤食改善。食事に困っている子どもたちに無料で食事を提供する！ ★基地跡地の利用。基地の跡地や使われてない土地に何をつくりたいかアンケート等をとってみる。アンケートをとったあとそれをまとめてグラフ等にして県民が何を求めているかを出す ★美ら海「From garbage to accessories」。海の中や砂浜に捨てられているプラスチックごみをレジン等を使って、イヤリングやネックレス等アクセサリを作る。

上の感想等以外にも、紹介したいものが多数あったが、紙幅の関係上紹介できなかったのは残念だ。紹介したい感想等が多くあるということは、皆さんが「総探」に真剣に取り組む、多くの生徒が「自走」し始めている証でもある。宜野湾高校が、「総探」(or 創立 40 周年)を契機に新たな進化に向け、走り始めた？ そう感じさせる皆さんの感想だった。

沖縄県立宜野湾高等学校長 津留一郎